

第3回

保守点検・清掃委員会開催

本年度第3回目の保守点検・清掃委員会が11月11日(金)午後2時に、県環境技術センター4階会議室で開催された。委員からの要望もあり、今回は県のゴミゼロ推進室の川端室長、同天野専門幹、同脇田係長を招き開催した。

まず、中川委員長が開会の挨拶をした後、川端室長から「浄化槽は県民生活に欠かすことのできないものであり、生活排水処理の柱と認識しています。皆さんから様々な意見をいただいて、連携しながら住民の皆さんに納得していただけるような維持管理の制度を、今後も進めていきたいと思っております。」と挨拶した。

その後は委員長が議長となり、県の方と各委員とが忌憚のない意見を交換をした。

また、川端室長からは、「一括契約について24市町村の理解を得ながら、できる限り全県下で普及していきたいので、皆さまにご協力いただきたい」と方針を説明した。

また、「規模が大きい施設については、指導を直接行っており、無管理施設も同じように、現場指導を含め積極的に指導をしていきたい」と述べた。

最後に委員長は、今日、議論された問題は今後のわれわれのテーマとして引き続いて検討していきたいと会を締めくくった。



H 23.11.11 保守点検・清掃委員会

工事技術講習会開催 設備士会

徳島県浄化槽設備士会は11月16日、徳島グランヴィリオホテルで浄化槽工事技術講習会を開催した。この講習会は、今年3月に発生した東日本大震災の影響によって急遽中止されたもので、時期を変更しての開催となった。

講習会には浄化槽設備士、浄化槽管理士の31名が参加し、山田設備士会会長の挨拶のあと講義に入った。

1時限目は(一般財)日本建築センター評定部 浄化槽試験所の吉田義久主査が「わかりやすい浄化槽の

構造基準について」と題し講演を行い、浄化槽の構造やしくみについて、現在に至る様々な浄化槽についての構造等を分かり易く説明した。

2時限目は、当センターの監事である朝田啓祐法律事務所の志摩恭臣弁護士が「浄化槽工事におけるトラブル及び対処法について」と題し、浄化槽に関係した今までの事例を元に、事前に募集した質問事項(トラブル事例等)に対し、弁護士の解釈や過去の判例をもとに解りやすく、防止策や解決法を説明した。

参加者は、日頃の業務上の疑問点や問題点と重ね合わせ、時間いっぱいまで質疑応答を繰り返した。



H 23.11.16 工事技術講習会

浄化槽維持管理講習会開催 管理士会

徳島県浄化槽管理士会は11月26日、県環境技術センター4階会議室で浄化槽維持管理講習会を開催した。

講習会は午前・午後に分けて2回実施し、計37名(午前18名、午後19名)が参加した。

今回の講習は、アムズの新製品の特徴や維持管理のポイントについて、出席した管理士は熱心に勉強した。

また、1階駐車場では、浄化槽のカットモデルを展示し、各部位の説明等も行われた。

メーカー講習会の内容は次のとおり

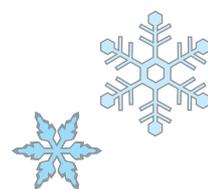
11月26日(土) 1回目 AM 10時30分～

2回目 PM 1時～

内容：「アムズC X N」型浄化槽の維持管理について

講師：アムズ(株)営業推進部技術・品質グループ

課長 足立清和氏



那賀町一括契約協議会開催 推進策等について打ち合わせ



10月25日(火)午後2時から、那賀町役場で、会員と県、南部県民局、那賀町など行政関係者を含む18名が出席し、那賀町

浄化槽らくらくあんしん協議会が開催された。

田中副会長が開会の挨拶をしたあと、議事に入った。

まず、議題1『法定検査について』では、平成23年度上半期分の実績について報告がなされ、未受検者に対する対応を協議した。

センター松原会長、大坂常任理事から、徳島県で初の一括契約を後々つなげるためには、より高い実施率を目指し、未受検者に対し県として積極的な指導して欲しい旨要望。南部県民局環境担当阿部課長より、上半期で35.2%、下半期に同数が検査されれば、単純計算で年間検査率は70%程度となる見込み。県全体と比較すれば非常に高い率となるが、地区によってかなり開きがある。受検率が低い理由等、協議会会員間でデータを精査し重点的な指導が必要な地区等のリスト作成をしてもらえれば検討を行い、必要であれば浄化槽調査員による個別訪問を視野に入れて対策を実施する案が出された。議題2『一括契約推進方法について』では、①23年10月21日時点での契約実績、②契約締結上の課題、問題点(年1回の清掃、法定検査の不徹底、連絡不通の対応)③今後の一括契約推進方法(周知、広報、個別訪問、説明会開催等)の3事項を川人常任理事より報告。

協議会の田中副会長、吉岡監事より、「後ひと押しで、契約する意志がある所を県が後ろから押して欲しい」

「旧鷺敷町、旧相生町内では、農業集落排水施設に接続している家庭と比べて、浄化槽の維持管理費が高額になることから契約率が低くなっていると思われる。町として助成金を増やす等を検討して欲しい」と要望した。その他、昨年実施した説明会を集落ごとに分けて、休日もしくは夜間に実施する案が出され、県、町に対し、開催についての協力を依頼した。

小松島市と 災害支援協定締結

11月15日、県環境技術センターは小松島市と、今後発生する確率が高まっている東海・東南海・南海地震等、大規模災害時に被災した浄化槽の復旧支援を行うための協定書に署名した。

県立富岡東中学校で 環境学習シンポジウム開催

今夏7月に、県環境技術センターが環境学習を実施した、県立富岡東中学校において、「かけがえのない地域の水環境」をテーマに、環境学習シンポジウムが開催され、生徒が取り組んだ成果が発表された。

シンポジウムには中学1年生2クラスの生徒が、今年度行った環境学習をまとめたものを、研究テーマごとのグループで発表した。

主な内容としては、阿南市における、オヤニラミをはじめとした稀少生物の保護への取り組みや、阿南市で供用が開始され、河川の水質保護のため働いている公共下水道の施設見学報告などであったが、いずれも地域の水環境を守るためにはどのような取り組みが必要かということ訴えかける内容のものであった。

シンポジウムの後半ではパネルディスカッションが開かれ、生徒代表と、阿南高専の湯城教授、大田准教授ならびに阿南市環境保全課茂村課長がパネラーとして討論を行った。

この中で、生徒は水環境を守るため、合併浄化槽を推進し、水環境保全への取組みを進めるべきとの意見を発表した。これは7月に実施した浄化槽をテーマにした環境学習が影響しているものと思われ、改めて教育の大切さを感じた。

環境技術センターでは、今後も感受性豊かな子供たちへの環境教育等を通じて、環境啓発活動を推し進めていきたい。



協定内容は、他の市町と同様の内容になるが、被災地の施設に設置されている浄化槽の被害状況調査とその応急復旧工事が主体となる。

これで、徳島県及び徳島市・阿南市・小松島市・北島町・牟岐町の3市2町との協定が締結された。



吉本元小松島支部長



四国地区 第5回 検査機関
ソフトボール大会 開催

11月5日(出)
昨年の徳島県
から主催を香
川県に移し、
浄化槽法指定
検査機関四国



地区協議会の第5回ソフトボール大会が香川県の坂出市営グラウンドで開催された。参加人員は過去最高の140人と賑やかな大会となった。

晴れ女?である原岡専務が欠席することから危ぶまれていた天候も、予想どおりの雨となり、大変なコンディションの中で始めることになったが、主催県である香川県の皆さんが、駐車場の案内・整理からグラウンド整備まで手際よく実施していただいたため、予定よりも早く開始された。

4県の総当たりで順位を決めるが、徳島県は第一試合に地元香川県と対戦。山条会長の『徳島には配慮するように』との心優しい指示とは裏腹に、最終回まで5対1と劣勢。松原会長が山条会長に『約束と違うでェ』と詰め寄ると山条会長は『ちゃんと指示したんやけど、まだ配慮がたらんみたいやなァ』とニコニコ顔。いつもどおりの敗戦が色濃くなっていた。

しかし最後の攻撃中、グラウンドが雨でぬかるんできたため、試合を一旦中断、打席に乾いた砂が入れられた。すると、どうしたことか徳島の打線が一気に爆発、これまでの鬱憤を晴らすかのように一挙に5点を入れ逆転に成功、6-5で初めての勝利を手にした。

松原会長の分析では、勝因は声援にあったらしい。それも黄色い声援に混じって時折聞こえる若干年季の入ったちょっぴり濃いめの黄色?い声援のお陰で、今まで目一杯入っていた力が適度に抜け、選手の緊張がほぐれて良い結果につながったとのこと。この勝利のMVPは是非〇〇さん(匿名希望)にあげてほしいと語っていた。



他の2県には、お約束どおりの敗退となってしまったが、この1勝のお陰で順位は3位(得失点差で)になり、大会史上初めて最下位から脱出することが出来た。

午後から場所を移し行われた懇親会では、寺井会長や山条会長らが自慢のどを披露、当県からは、検査員の中西君と住友君が登場、大きな声援を受けていた。寺井会長曰く『あの背番号93番、ソフトボールもさることながら、歌もかなりのもんやなァ、バッティング同様、わざと微妙にはずしているところが何ともしばらしい!』と最上級の讃辞を贈っていた。

山条会長は挨拶の中で『各県の実力は伯仲しており、

その差は紙一重、僅差である』と述べられたが、やはり当県は練習不足が顕著、紙は紙でも極厚の段ボールほどの実力差がある。来年こそは、大会前にバッティングセンターとカラオケボックスで練習に励みたい。(毎年云っているような気がするが・・・)

和やかな雰囲気の中で、各県の検査員・職員同士が歓談し、午後4時30分に散会となった。

いつもの一句

試合に負け、散らかった道具をかたづけるのは
ちら(辛)かった

水質計量便り

あすたむらんど
「サイエンスフェア」
に参加

くわしくはホームページで



あすたむらんど徳島において、11月5日(土)・6日(日)の2日間、「サイエンスフェア2011」が開催され、県環境技術センターは、「おもしろ博士の実験室」で出展参加した。

このサイエンスフェアは、子供たちに色々な科学実験に親んでもらうことを目的に開催されているもので、様々な団体が、子供たちに実験イベントを提供し好評を博していた。

当センターは「スーパーボールをつくらう」の実験コーナーを設置した。2日間で約500名の子供たちが詰めかけ、自分たちで材料を混ぜ合わせて、色とりどりのスーパーボールを満面の笑顔で製作し持ち帰っていった。



事務局だより

法定検査のお知らせ

次の日程で法定検査を実施します。

〇11条検査

日程1：平成24年1月18日～1月25日
地 区：阿南市・那賀町

〇11条検査(一斉検査)

日程2：平成24年1月26日～2月3日
地 区：阿南市一斉検査(羽ノ浦・那賀川地区)

〇11条検査(督促検査)

日程3：平成24年1月26日～2月3日
地 区：阿南市・那賀町

〇11条検査

日程4：平成24年2月6日～2月17日
地 区：鳴門市・藍住町・北島町・松茂町・板野町・
上板町・石井町・神山町・佐那河内村

〇7条検査

日 程：平成24年1月16日～1月27日
地 区：徳島市・藍住町・北島町・上板町・石井町・
神山町・佐那河内村

